



# 平成 29 年度 北小学校区 第2回地域コミュニティ連絡会のまとめ



10月20日（金）に開催された「平成29年度北小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

## ■開催概要■

日 時	平成29年10月20日（金）19:00～20:45		
会 場	市民体育館		
参加団体  (26名)	一番町町内会 文教町1丁目町内会 文教町2丁目自治会 大宮町1丁目自治会 シャルマンコーポ町内会 壱町田1丁目自治会 県営壱町田やまがみ団地自治会 東壱町田町内会	交通安全母の会 北幼稚園 北小学校 北小学校PTA 北中学校 子ども会連合会 つつじ子ども会 ひばり子ども会	一番町子ども会 東レ鎧坂子ども会 スポーツ推進員 体育振興会 保健委員会 地域包括支援センター三島 三島市社会福祉協議会

## ■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「地域コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の取組み事例紹介」
- 3 「地域の情報を共有しよう」
- 4 「計画案で実践できることを考えよう！」
- 5 「アンケート記入」



## 「地域の情報を共有しよう」のまとめ

今回の「地域の情報共有」では、小学校区の年間スケジュール表や各団体から出された情報を参考にしながら、各団体間の情報を共有しました。

### ○「小学校区の年間スケジュール表」について

同じ小学校区内で活動する団体の行事や活動の予定等を各団体と共有し、日程調整等のために活用していただくことを目的に、本年度から小学校区内の団体等の年間スケジュール表を作成しています。第2回連絡会では、第1回連絡会后にいただいた予定等も追加して、参加者に配布しています。

### ■主な情報共有の内容

団体	情報の概要
一番町町内会	・一番町の子ども会の活動は活発で、お祭り、もちつき大会、どんど焼きを開催したり、訓練に参加したりしています。
文教町1丁目町内会	・文教町1丁目には、子ども会がありません。 ・きずなづくりのため、住民の顔合わせの場を作りたいと考えていますが、うまくできていません。防災訓練にはたくさんの住民が参加してくれるので、訓練から顔合わせをしたいと思います。
文教町2丁目自治会	・今年度から“健康クラブ”を立ち上げ、きずなづくりに取り組んでいます。健康クラブは、9/3に第1回を開催し、地域の方にマンダリンを演奏してもらったり、健康体操をしたりしています。今後も続けていきたいです。
シャルマンコーポ町内会	・9/10からコミュニティカフェを始めました。これから毎週日曜に開催し、住民同士の顔合わせの場としていきたいです。 ・月～土曜の10～17時に娛樂室を開放したところ、子どもがたくさん来てくれて交流が増えました。今後も続けたいと考えています。
県営壱町田やまがみ団地自治会	・防災訓練に消防団に来ていただきました。水消火器や三角巾の訓練を体験し、興味を持ちました。
東壱町田町内会	・11/12の防災訓練に向けて意識を高めるため、黄色いハンカチや防災トイレを各戸に配布する予定です。
北幼稚園	・地域の方に園庭や駐車場の整備をしていただき、ありがとうございます。 ・「幼稚園で遊ぼう会」や「園庭解放日」があるので、未就学児はぜひ遊びに来てください。
北小学校	・8/28に開催された巡回ラジオ体操にご参加いただき、ありがとうございます。講師の先生から「子どもが多くて良かった」「きれいな体操」との感想をいただき、嬉しかったです。 ・9/1には小学校の避難訓練を実施し、各自治会長に来ていただきました。ご協力ありがとうございました。
北小学校PTA	・12/9に「イザ！カエルキャラバン」を開催します。ぜひ親子でご参加ください。自治会の方もぜひ参加してください。 ・子ども達の安全を見守っていきたいです。

団体	情報の概要
北中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の良い経験になるので、地域でどんどん受け入れてください。</li> </ul>
子ども会連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7/2に開催したドッジボール大会は成功に終わりました。ご協力ありがとうございました。</li> <li>・市子連から抜きたいと考えている子ども会が多いのが悩みです。ぜひ地域でサポートをお願いします。</li> </ul>
つつじ子ども会 (文教町2丁目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃品回収、ラジオ体操などを行ったり、校区祭に参加したりしました。</li> <li>・子ども会への加入率は少ない状況です。</li> <li>・健康クラブと連携できると良いと考えています。地域に協力したいです。</li> </ul>
ひばり子ども会 (壱町田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生が子ども会活動に協力してくれるので、役員負担が減りました。</li> <li>・今年は子ども会のクリスマス会に未就学児も招待し、小学校入学後に子ども会に入りたくるようにしようと考えています。</li> </ul>
一番町子ども会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会やしやぎり保存会など地域の団体と連携し、活発に活動しています。</li> <li>・県教育委員会のサポートを受けて、箱根の里で防災を学ぶ通学合宿をやっています。</li> <li>・子ども会のメリットは、地域の子どもや親同士が顔見知りになることで、何か起きた際に役に立つことだと思います。</li> </ul>
東レ鎧坂子ども会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転勤が多い地区ですが、子どもの数が減っています。</li> <li>・スポーツ少年団に入っている子どもが、子ども会への入会を躊躇し始めています。</li> </ul>
体育振興会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育振興会の活動に参加する子どもの数が少なくなっていることが課題です。子ども会と協力したいです。子ども会に参加していない子どもは、ぜひ入会してください。</li> <li>・体育振興会のメンバーを世代交代したいが、役員負担が少ないです。</li> <li>・10/8に校区の運動会を開催しましたが、子ども達がボランティアで協力してくれて助かりました。</li> <li>・10/22にペタンク大会を企画していますが、選挙や台風で開催できるか心配です。</li> </ul>
地域包括支援 センター三島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りシールを県内初めて導入します。</li> <li>・認知症の人が増えているので、地域内での見守りもお願いします。</li> </ul>
三島市 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三島市から受託し、「生活支援コーディネーター」の役割を担っています。</li> <li>・高齢者のサロン等の「居場所」づくりに力を入れています。</li> <li>・地域の困りごとの相談も受け付けますので、お気軽にご相談ください。</li> </ul>

■小学校区の年間スケジュール表の追加・修正内容

日にち	団体名	行事・活動等
9月3日	文教町2丁目	■健康クラブ+子ども会の参加

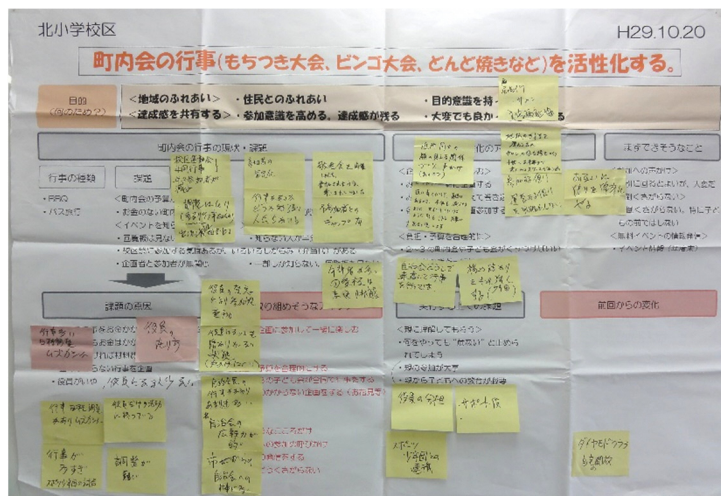
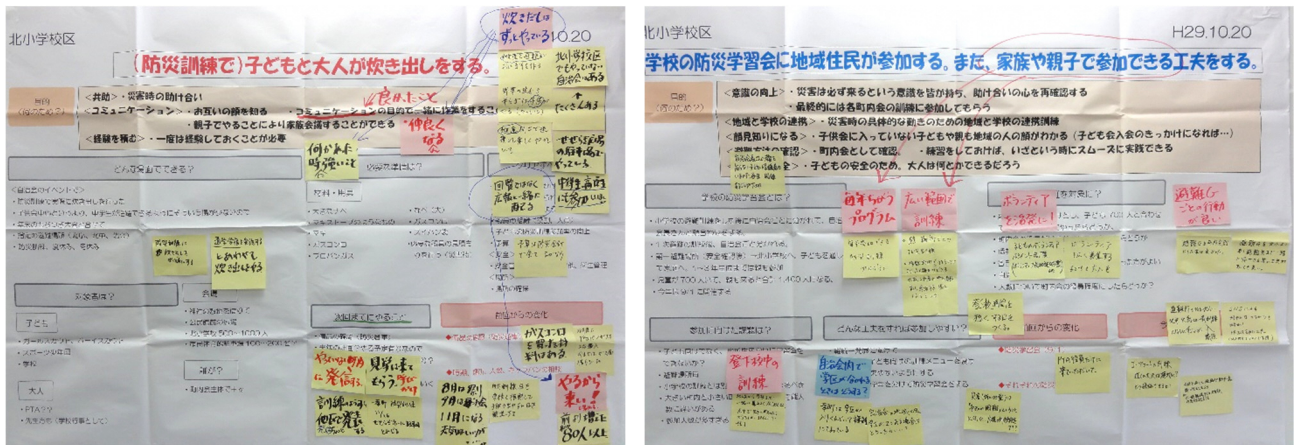
# 「計画案で実践できることを考えよう！」のまとめ

## ■旗揚げアンケートの結果

「きずながつくる協働の取組み計画案」に掲載されている取組みのうち、昨年度第2回連絡会で投票数の多かった取組みの中から、参加者自身が話し合いたいテーマを旗揚げアンケート方式で把握しました。

	子どもと大人が炊き出しをする。	5
	学校の防災学習会に地域住民が参加する。 また、家族や親子で参加できる工夫をする。	11
	町内会の行事（もちつき大会、ビンゴ大会、どんど焼きなど）を活性化する。	10

その後、選択したテーマごとにグループを作り、第1回連絡会の意見を踏まえて、グループ別に意見交換を行いました。各グループの意見のまとめは、次ページ以降に整理します。



# (防災訓練で)子どもと大人が炊き出しをする。

## 炊き出しの良い点

- ★コミュニケーション
- ★仲良くなれる
- ★何かあった時に強いこと

### 目的

### ●共助

### ●コミュニケーション

### ●経験を積む

### 現状

- 炊き出しはずっとやっている
  - 子ども達と母親がおにぎりを作る
  - 野菜の皮むき、米とぎは子どもがやる(やっている)
  - 子ども達同士で連携して楽しくやっている
- やっていない自治会もある
  - 北小学校区でもやっていない自治会はたくさんある

### どんな場面でできる？

- <自治会のイベントで>
  - 子供会中心より、中学生が活躍できるように
  - 年末のもちつき大会と合せて
- <防災訓練・通学合宿で>
  - 防災訓練で実際に炊き出しを行った
  - 防災訓練、夏休み、冬休み
  - 指定の避難場所(北小、北中、北高)
  - 防災訓練に炊き出しを必須にする
  - 通学合宿を実施し、あわせて炊き出しをやる

### 必要な準備は？

- 大きなナベ
- マキストーブのようなもの
- マキ
- ガスコンロ
- プロパンガス
- 炊飯袋
- 必要な器具の見積もりを行う(災害時)

### クリアすべき課題

#### <幅広い参加呼びかけ>

- 出てくる人が限られる
- 参加したくなるようなPR
- 役員の組織(役割、人員)
- 子どもの訓練参加率の向上
- 中学生・高校生にも参加してほしい

#### <予算>

- 予算は防災会計で賄う

#### <安全>

- 安全管理、火災、ナイフ他、衛生管理

#### <場所>

- 場所の確保

### 対象者は？

#### 子ども

- ガールスカウト、ボーイスカウト
- スポーツ少年団
- 学校

#### 会場

- 神社の敷地を借りて
- 公民館前の広場
- 北小学校 500~1000人
- 市民体育館駐車場 100~200名?

#### 大人

- PTA??
- 先生方も(学校行事として)

#### 誰が？

- 町内会主体で+α

### 次回までにやること

#### ●計画する

- 来年の計画?やる予定有りなので
- 場所、人数、時期→PTA 見積もり?12/9 北小?カエルキャラバン
- 北小カエルキャラバンにからめていく
- 備品の確認(防災倉庫)

#### ●発信する

- やっていない町内に発信する
- 見学に来てもらう。呼びかけ
- 訓練の様子を他区で発表・ちょっと発信する
- 一番町防災訓練 11/26 せせらぎホール駐車場。豚汁
- 回覧ではなく広報と一緒に配る。やるから来い!と集める

### 前回からの変化

#### ◆備品の確認(防災倉庫)

- ガスコンロを買った。材料はある
- 今まではガス屋に借りていたが、H28年度にプロパンガスを2台購入した

#### ◆時期、場所、人数、キャラバンの相談

- 以前よりも参加者が増えた。参加者80人以上
- 8月は祭り、9月は運動会があり、11月になる。天気はいいが...
- 防災訓練日について学校と相談をして、子どもが出やすい日を設定する

# 学校の防災学習会に地域住民が参加する。また、家族や親子で参加できる工夫をする。

目的	●意識の向上	●地域と学校の連携	●顔見知りになる	●避難方法の確認	●子どもの安全
----	--------	-----------	----------	----------	---------

## 学校の防災学習会とは？

- ・小学校の避難訓練をした後に自治会ごとに分かれて、自治会長さんと顔合わせをする。
- ・1次避難の訓練後、自治会ごと分かれる。
- ・第一避難場所（安全確認後）→北小学校へ。子どもを通して家庭へ。1～3年生位までは親も参加
- ・児童が700人いて、親も来ると合計1,400人になる。
- ・今年は9/1に開催する

## 対象者

- ・親は低学年の親だけとし、子ども700人と合わせて総数1,000人でやったらどうか。
- ・町内会の役員だけに参加してもらう
- ・低学年の保護者+自治会役員
- ・各自治会の防災役員に参加してもらう方がよい
- ・自治会の防災委員に来てもらう
- ・町内会の役員程度にしたらどうか？

## 地域の訓練に参加しやすくする工夫

- 毎年違うプログラム
- ・毎年参加できる防災訓練プログラム
- 自治会を超えた広い範囲で訓練
- ・避難所ごとの防災訓練
- ・複数町内で行うことで、広く顔見知りになる
- ボランティアを活発に！
- ・子どものボランティアポイント制度（ボランティア参加証明書他）
- ・子どもも大人もボランティアを広く募集

## 効果的な訓練のアイデア

- 子供向けメニュー
- ・各町内会で子ども向けの訓練メニューを設けて子どもが来やすいようにする
- 年代で分ける
- ・低学年と高学年を分けて防災学習会をする
- 避難Gごとの行動が良い
- ・避難Gを町内会別にした事は良かった
- ・避難Gを北小より第1避難先まで一括に帰させる等の工夫があっても良い
- 登下校時の訓練
- ・登下校中の訓練
- ・地域から学校まで一緒に歩く会（子ども・大人）。途中で災害にあったらどうするか話す

## 参加に向けた課題は？

- 地域住民が大勢参加するのは不可能
  - ・子ども向けでなく、地域住民向けに学習会をできないか？
  - ・避難場所毎
  - ・小学校とは別に避難所訓練でやるべき
  - ・大きい町内と小さい町内があり、参加可能人数に違いがある
  - ・参加人数が多すぎる
- 自治会内で学区が分かれている
  - ・幸町は学区が入り組んでいて複雑
  - ・自治会の地域の中に学区が2つある場合はどうしたらいい？

## 前回からの変化

- ◆防災学習会（9/1）
  - ・PTA役員だけに来て頂いた
  - ・災害（特に地震）は「予知が困難」ということになった。今後の訓練設定???

## 今後の取り組み

- ・避難所となる北小・北中・北高との一斉開設訓練になるとすごいが…
- ・SNSによる緩やかな繋がりも必須か？PR方法を含めた工夫（北小はブログを活用）
- ・Jアラートの訓練。近くの丈夫な建物に？どう保証できるか
- ・子どもを通して避難行動手順を親に伝えてもらう。（例：第1避難場所の確認、安否確認方法）

# 町内会の行事(もちつき大会、ビンゴ大会、どんど焼きなど)を活性化する。

目的  
(何のため?)

- <地域のふれあい> ・住民とのふれあい
- <達成感を共有する> ・参加意識を高める。達成感が残る
- ・目的意識を持って参加する
- ・大変でも良かった思いが残る

## 町内会の行事の現状・課題

- 町内会の予算がない
  - ・お金のない町内は何もできない
  - ・法人系の会費が減っている
- イベント参加者の減少
  - ・校区運動会、年間行事の参加者が年々減少
  - ・調整は無理。(重列行事あるため) 出られる範囲で出る
  - ・参加者の固定化
  - ・敬老会を開催しました。参加された方は楽しまれていました
  - ・不参加者とのギャップ有
  - ・年配者が多い。回覧板は素通り状態
- イベントを知らない(周知不足・無関心)
  - ・回覧板は見ないので、知らない
  - ・知らない人が半分以上いる
  - ・校区祭に参加する気はあるが、いろいろしがらみ(弁当代)がある
  - ・企画者と参加者が無関心
  - ・一部しか知らない。回覧板を見ない
  - ・行事があるかどうか知らない人達がいる
- 行事が多い
  - ・行事多い。日程調整難しい
  - ・行事日程調整があり難しい
  - ・行事が多すぎ。スポーツ少年団の試合
  - ・役員だけの活動に終わっている
- 役員の負担が大きい
  - ・調整が難しい
  - ・役員のあり方
  - ・役員の熱意により参加数変わる
  - ・役員になっても係わりがない状態(声掛けにくい)
  - ・自治会長の行事係わりあまりにも多い
  - ・各自治会の広報力が弱い
  - ・市からの自治会への仕事が多い

## 活性化のアイデア

- <企画に参加して楽しむ>
  - ・みんなで一緒に企画し、巻き込んで参加する
  - ・各行事において企画参加するだけの人、無関心の層がある
- <負担・予算を合理的に>
  - ・2~3の町内会や子ども会がくっつけばいい
  - ・どんど焼きを一緒にやる
- <地域のきずなづくり(サロンなど)>
  - ・近所同志の顔の見える関係づくり、声かけ(あいさつ)
  - ・役に付くだけで負担はあるので、不安を減らせるようにサポートしていけるような所を作る必要がある
  - ・居場所サロン。社会福祉協議会
  - ・子ども~お年寄りまで楽しめるスペースがあると良い
- <連携する>
  - ・参加する側、運営する側を明確化しない
  - ・自治会同士で連携して行事を行う
  - ・スポーツ少年団同士の横のつながりをもっと強くする

## まずできそうなこと

- 参加への声かけ
- ・個別に回るとよいが、大変だ
- 面倒くさがらない
- ・面倒くさがらない。特に子どもの前ではしない
- イベントの情報発信
- ・イベント情報(年度末)

## 実行する上での課題

- <親に理解してもらう>
  - ・何をやっても“危ない”と止められてしまう
  - ・親の参加が大事
  - ・親から子どもへの教育が必要
- <役員の負担軽減>
  - ・サポート役が必要
- <スポーツ少年団との連携>
  - ・スポーツ少年団との連携